

⊕ プラスチック溶着・溶断技術のパイオニア

精電舎電子工業株式会社



精電舎電子工業(株)はプラスチック溶着・溶断技術と波動応用技術の革新に絶えず挑み続ける溶着機器・樹脂加工機器の国内トップメーカーです。

国内のプラスチック産業の急成長に伴いプラスチック溶着機の開発に注力し、高周波溶着機は塩化ビニールを溶着する目的に優れ、1960年「ダッコちゃん」を製造する溶着機を製造拡販。

1961年、世界初となる「超音波ウェルダ―」を東京国際見本市で発表。以来、樹脂の二次加工技術に特化した産業装置として、電磁誘導ウェルダ―、業界初のNC炭酸ガスレーザー加工機をJP84で発表。その後も振動溶着機、非接触熱板溶着機、インパルスウェルダ―などの装置を次々に開発。

プラスチック溶着技術では、自動車、家電、医療、情報通信機器など国内外の大手メーカーの外部研究機関としての役割を担い、新商品の開発段階より相談を受け共同特許も多数取得。近年は、金属を接合する超音波金属接合機、食品向けフードカッター、包装用シールユニット、超高速超音波ミシン、超音波カッターなど時代のニーズに合わせたユニット、装置を提供。

2018年には「バルーンカテーテル溶着機MS-B」が(平成30年度)関東地方発明表彰にて関東経済産業局長賞・実績功労賞を受賞。また「超音波溶着機SONOPET JII」が世界発信コンペティション製品・技術部門で特別賞受賞するなど業界に貢献する装置として表彰を受けている。

保有技術・製品展開

- 超音波溶着機(ウェルダ―)
- 超音波金属接合機
- レーザー溶着機
- レーザー加工機
- レーザー発振器
- 電磁誘導ウェルダ―
- 非接触熱板溶着機
- 高周波ウェルダ―
- 振動溶着機
- 超音波フードカッター
- 包装用シールユニット など

精電舎電子工業が選ばれる4つの理由

- 理由1 溶着溶断装置の総合メーカー
- 理由2 一貫体制による充実サポート
- 理由3 各工法の専属技術スタッフによる強力サポート体制
- 理由4 「世界初」から築き上げた圧倒的な納入実績



超音波応用技術

高周波応用技術

レーザー応用技術

振動応用技術

その他の応用技術

自動化システム技術



超音波溶着機(ウェルダ―)



超音波金属接合機



レーザー溶着機



振動溶着機



非接触熱板溶着機



高周波ウェルダ―



インパルスウェルダ―



カテーテル溶着機

COMPANY DATA

精電舎電子工業株式会社

TEL.(03)3802-5101 FAX.(03)3807-6259

<https://www.sedeco.co.jp>

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2丁目2番17号

E-mail ホームページのお問い合わせフォーム

事業内容 溶着・溶断装置の総合メーカー
 創立 昭和31年7月16日
 資本金 88,625,000円
 代表取締役社長 松岸 則彰
 従業員数 160人
 事業所 営業所:北関東、大阪、名古屋、広島、福岡
 事務所:湘南、室蘭(予定)
 海外:アメリカ、中国、タイ
 主要取引先 自動車、電機、電子情報通信、光学、医療、化学、事務器文具、玩具などのメーカー